

Ⅷ コミュニティ・スクール推進事業

1 目的

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）に関する研修機会の拡充等を図り、制度や事例についての理解を深めることを通じて、県内の学校運営協議会設置校の一層の拡大や取組の充実を図る。

2 事業内容

コミュニティ・スクールの全校設置と推進体制の構築をめざす教育委員会を対象とした「コミュニティ・スクール推進体制構築事業」（国庫補助事業）として実施。

(1) CSアドバイザー派遣

①趣旨

- ・コミュニティ・スクールの立ち上げや推進体制の構築に向けて助言を行う実践者（CSアドバイザー）を県教育委員会に配置し、市町教育委員会や県立学校からの要請に応じて派遣する。
- ・県内全域において市町と県立学校との関係の構築や情報の共有を推進するなど、コミュニティ・スクールの設置や取組の充実に資することを目的とする。

②CSアドバイザー

CSアドバイザー



安藤 清代
元滋賀県立
草津養護学校長
(CS設置校)



伊藤 照男
元湖南市立
岩根小学校長
(CS設置校)



梅本 剛雄
元滋賀県立
高等学校長



北島 恭雄
元草津市立
草津第二小学校長
(CS設置校)



北辺 禎雄
元長浜市立
虎姫小学校長
(CS設置校)



中村 隆洋
元滋賀県立
河瀬中学校・高等学校長
(CS設置校)



法山 由紀子
元湖南市立
石部小学校長
(CS設置校)



松田 幸夫
元長浜市立余呉小中学校
主任事務主査
(CS設置校)

わたしたちが
サポートします！

- CS導入
- 取組の充実
- 相談
- 研修会講師

ニーズに応じて訪問いたします！

CSアドバイザーの
メッセージ動画を
視聴できます！



滋賀県学習情報提供システム「におねっと」

③派遣実績

| | 派遣日時 | 研修名等 (派遣先) | 派遣 アドバイザー | 上段：テーマ・内容等 下段：参加者等 | |
|---|-------------------------|--------------------------------------|--------------|---|-------------------------|
| | | | | 1 | 4月19日(金) 15:00～16:30 |
| 2 | 6月24日(月) 9:50～10:50 | 彦根市小・中学校教頭会研修会 彦根市南地区公民館 | 北島 恭雄 | 地域学校協働活動推進員と教職員の効果的 な連携と事例紹介 彦根市小中学校教頭26名 | |
| 3 | 6月26日(水) 17:00～19:00 | 地域と伊香高のミライ創造コンソーシアム理 事会 伊香高等学校 | 中村 隆洋 | 伊香高校の魅力化推進と地域連携の体制構 築について コンソーシアム理事17名 | |
| | 7月1日(月) | 学校運営協議会 | 安藤 清代 | 聾話学校におけるコミュニティ・スクール 事業について | |

| | | | | |
|----|-------------|--|----------------|---|
| 4 | 13:15~15:00 | 聾話学校 | | 聾話学校学校運営協議会委員等 10 名 |
| 5 | 7月31日(水) | コミュニティ・スクール及び地域学校協働及び地域学校協働活動の推進に係る研修会 | 伊藤 照男 | 地域学校協働本部の設置に向けて |
| | 14:05~15:20 | 大津市役所 | | 地域学校協働活動推進員・地域連携担当教員・生涯学習専門員・事務局職員 計 60 名程度 |
| 6 | 8月29日(木) | 守山市コミュニティ・スクールに関する研修会 | 北島 泰雄 法山由紀子 | 守山市におけるコミュニティ・スクールの在り方について |
| | 10:00~11:30 | 守山市役所 | | 学校教育課、社会教育・文化振興課 5 名 |
| 7 | 9月30日(月) | 第2回学校運営協議会の事前打合せ | 梅本 剛雄 | 第2回学校運営協議会の協議事項について |
| | 14:30~16:00 | 東大津高等学校 | | 学校運営協議会会長、地域コーディネーター、学校管理職 3 名 |
| 8 | 10月2日(水) | 第2回学校運営協議会 | 中村 隆洋 | 伊香高校の現状と魅力化推進等について |
| | 15:30~17:30 | 伊香高等学校 | | 伊香高等学校学校運営協議会委員等 10 名 |
| 9 | 10月29日(火) | 学校運営協議会委員連絡会 | 北島 泰雄 | 事例発表を基に熟議、活動等についての意見交流 |
| | 15:00~17:00 | 東近江市役所 | | 学校運営協議会会長 10 名、生涯学習課 3 名、学校教育課 1 名 |
| 10 | 11月8日(金) | 米原市立双葉中学校区「ふたばの日」教育フォーラム | 北辺 禎雄 | コミュニティ・スクールとして地域および中学校区校園の連携 |
| | 15:10~16:30 | おうみ認定こども園 | | 米原市立双葉中学校区教職員、学校運営協議会委員、民生児童委員、学校教育課員等 50 名 |
| 11 | 11月12日(火) | 彦根市地域学校協働活動推進員研修会 | 松田 幸夫 | 「CSと地域学校協働活動の一体的な推進」の実現に向けた、地域学校協働活動推進員の学校運営協議会での役割と働きかけ |
| | 15:15~16:45 | 彦根市南地区公民館 | | 彦根市地域学校協働活動推進員、学校職員、学校運営協議会委員等、45 名 |
| 12 | 11月15日(金) | コミュニティ・スクールにかかる学校運営協議会委員研修会ならびに第3回管理職研修会 | 北島 泰雄 | コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進の取組 |
| | 19:00~20:30 | 甲賀市役所 | | CS 設置校の学運協委員・学校管理職、地域学校協働本部関係者、CS 設置検討の小中学校管理職、教育委員会事務局関係職員 100 名 |
| 13 | 12月21日(土) | 令和 6 年度高島市地域学校協働活動研修会 | 松田 幸夫 | 学校と地域の新しい関係づくりをめざした参加者の熟議 |
| | 15:00~16:00 | 高島市役所 | | 地域学校協働活動推進員・学校運営協議会委員・教職員・関心のある方・事務局職員。40 名 |
| 14 | 1月9日(木) | 第2回滋賀県CSアドバイザー会議 | 7名 | 滋賀県におけるコミュニティ・スクールの推進について |
| | 15:00~16:30 | 県庁本館4階4-A会議室 | | CSアドバイザー、県教委生涯学習課員 6 名 |
| 15 | 2月7日(金) | 近江八幡市コミュニティ・スクール研修会 | 北島 泰雄 | “魅力ある”コミュニティ・スクールの推進について |
| | 15:00~16:30 | 桐原コミュニティセンター | | 学校管理職、CS 担当職員・学校運営協議会委員、生涯学習課員等 4 5 名 |
| 16 | 2月18日(火) | 第3回学校運営協議会の事前打合せ | 梅本 剛雄 | 第3回学校運営協議会の協議事項について |
| | 14:00~15:30 | 東大津高等学校 | | 学校運営協議会会長、地域コーディネーター、学校管理職 2 名 |
| 17 | 2月19日(水) | 第5回学校運営協議会 | 松田 幸夫 | 来年度のコミュニティ・スクールについて |
| | 19:30~21:00 | 日野町立南比都佐小学校 | | 学校運営協議会委員、校長、教頭、学校教育課員 1 名、生涯学習課員 1 名 |

(2) コミュニティ・スクールの研修の充実 (詳細は「I 推進協議会の取組」の項に掲載)

①「学校を核とした地域力強化プラン」(みつめなおして、よりよく①) 研修会 (6月開催)

②県立学校等コミュニティ・スクール推進事業研修会 (みつめなおして、よりよく②)

(7月開催)

③「学校を核とした地域力強化プラン」(みつめなおして、よりよく③) 研修会 (10月開催)

(3)「学校を核とした地域力強化プラン」推進協議会の開催

・CSアドバイザーから1名が参加し、アドバイザー派遣を通じて得た市町および県立学校等のコミュニティ・スクール導入・取組充実に関する実情や課題等の情報提供を行う。

(4)県立学校の学校運営協議会設置推進

県設置方針を策定

- ・法改正による努力義務化を受け、県立学校への学校運営協議会の設置を推進する。
- ・すべての県立学校を対象学校とし、各校の実情や意向に応じて希望する学校から順次設置する。

令和6年度(2024年度)学校運営協議会の設置校

| | 校名 | 設置年度 | 備考 |
|----|------------|--------------------------|---------------------|
| 1 | 長浜北高等学校 | 平成 28 年度 設置 | |
| 2 | 瀬田工業高等学校 | 平成 30 年度 設置 | 中高一貫の 学校運営協議会 |
| 3 | 河瀬中学校 | | |
| 4 | 河瀬高等学校 | | |
| 5 | 伊香高等学校 | | |
| 6 | 彦根工業高等学校 | 平成 31 年度 (令和元年) 設置 | |
| 7 | 守山北高等学校 | | |
| 8 | 甲西高等学校 | | |
| ⑨ | 草津養護学校 | | |
| 10 | 国際情報高等学校 | 令和 2 年度 設置 | 学校運営協議会は 2校で1協議会 |
| 11 | 能登川高等学校 | | |
| 12 | 八日市南高等学校 | | |
| 13 | 愛知高等学校 | | |
| ⑭ | 愛知高等養護学校 | | |
| ⑮ | 甲良養護学校 | | |
| 16 | 大津高等学校 | 令和 3 年度 設置 | |
| 17 | 八幡高等学校 | | |
| 18 | 野洲高等学校 | | |
| ⑲ | 野洲養護学校 | | |
| 20 | 湖南農業高等学校 | 令和 4 年度 設置 | |
| 21 | 栗東高等学校 | | |
| 22 | 信楽高等学校 | | |
| ⑳ | 三雲養護学校 | | |
| ㉑ | 八日市養護学校 | | |
| 25 | 堅田高等学校 | 令和 5 年度 設置 | 学校運営協議会は 2校で1協議会 |
| 26 | 長浜北星高等学校 | | |
| ㉒ | 長浜北星高等養護学校 | | 中高一貫の 学校運営協議会 |
| 28 | 守山中学校 | | |
| 29 | 守山高等学校 | | |
| 30 | 水口高等学校 | | |
| ㉓ | 北大津養護学校 | | |
| ㉔ | 守山養護学校 | | |
| ㉕ | 新旭養護学校 | | |
| 34 | 東大津高等学校 | | |
| ㉖ | 聾話学校 | | |
| ㉗ | 長浜養護学校 | | |

○番号は、特別支援学校を表す。高等学校 24 校（中高一貫の 2 校含む）、特別支援学校 12 校で 32 協議会。

(5)令和6年度版「滋賀のコミュニティ・スクール」リーフレット

※電子データもご活用ください。(滋賀県学習情報提供システム「におねっと」内に掲載)

URL および 二次元コード

https://www.nionet.jp/lldivision/community_school/index.html



～ 2校の取組について紹介(リーフレットより抜粋) ～



学校運営協議会での“熟議”が様々な活動に活かされています



東近江市立五個荘小学校



「おさがりおゆずり会・子育てカフェ」

学習参観後の時間を使い、おさがりおゆずり会を開催しました。保護者から提供していただいた体操服や赤白帽子、国語辞典などを必要な方が持ち帰られました。
また、子育てカフェも同時に開催し、保護者同士が会話を楽しまれる姿が見られました。

保護者の声

卒業までわずかだったため、体操服の購入を迷っていましたが、ちょうど良いサイズの服が見つかり大変ありがたかったです。今度は提供もしたいと思います。

彦根市立西中学校



「クリスマス&ニューイヤーカード大作戦」

ボランティアで集まった生徒と各地域の民生委員児童委員がチームとなり、地域の一人暮らしの高齢者の方々のお家と介護施設に手作りのカードを届ける「大作戦」を行いました。訪問時間は短いですが、心がホッと安らぐあたたかいひとときとなり、たくさん笑顔の花が咲きました。

地域の声

生徒さんからカードをプレゼントされて、感謝の気持ちでいっぱいです。今では孫も大きくなり、孫からのプレゼントもあまりない中で、もらった喜びはひとしおです。

県立学校地域協働モデル事業

「子どもに寄り添う」地域と学校の「連携・協働」体制を県立学校で！

趣旨

県立学校での幅広い地域住民等の参画による、地域と学校の連携・協働体制を促進し、子どもたちを支え、魅力ある学校づくりに資するとともに、活動を通じて地域のつながりを強化し、地域の活性化を図る。そうした取組をモデル的に進め、検証し、県域への普及を目指す。



期待される効果

- 子どもにとって** ⇒ 学びや体験活動が充実するとともに、地域の方となめぬの関係性を築き、居場所が増えることで、メンタルケアを図れる。多様な経験を積むことで、学習意欲が喚起され、自ら課題を解決しようとする資質や能力が育まれる。
- 学校にとって** ⇒ 地域人材による主体的な関わりが、高校の魅力を多様な面で引き出し、生徒と学校の成長につながる。地域資源を生かした授業づくりが進められる。また、教員の異動に関わらず、持続可能な学校支援体制が担保される。子どもの教育を保護者や地域住民等とともに担うことで教員の負担軽減につながる。
- 地域にとって** ⇒ 地域住民等が自らの経験や知識を子どもの教育に生かすことで、生きがいや自己実現の機会や場がつけられる。学校を舞台に緩やかなネットワークが形成され、地域の活性化につながる。

①事業について

県立学校地域協働モデル事業は、県立学校での幅広い地域住民等の参画による、地域と学校の連携・協働体制を促進し、子どもたちを支え、魅力ある学校づくりに資するとともに、活動を通じて地域のつながりを強化し、地域の活性化を図るためのものである。

そこで、県立学校に地域コーディネーター（滋賀県地域学校協働活動推進員設置要綱第一条の推進員をいう。以下同様。）を配置し、学校運営協議会と連携しながら地域学校協働活動を推進する取組をモデル的に進め、検証し、県域への普及を目指す。

②モデル指定校および地域コーディネーター

| | |
|--|---|
| <p>愛知高等学校・愛知高等養護学校 学校運営協議会設置 5年目</p> <p>地域のお祭りのために、地域コーディネーターと生徒が直接関わって準備を進めている。</p>  <p>←グループに分かれてブース出展を企画。お客さんの立場をイメージして内容や必要な機材を確認しているところ。子どもたちの考えや意見をもとに準備が進んでいます。</p> <p>地域コーディネーター</p> <p>綿谷 駒太郎 さん</p> <p>愛荘町で“地域おこし協力隊”としても活動されており、経験を生かしていただいています。</p>  | <p>東大津高等学校 学校運営協議会設置 1年目</p> <p>第1回協議会で学校が目指すビジョンや課題を共有。地域コーディネーターの参画に期待を寄せている。</p>  <p>←第2回協議会に向けて、地域コーディネーターと打合せ中。協議内容をもとに実現させたいことを整理し、生徒の安全・安心な学校生活や学びの充実につなげます。</p> <p>地域コーディネーター</p> <p>小寺 慎吾 さん</p> <p>地域とのつながりに強みのある地元企業から社会貢献活動の一環で参画いただいています。</p>  |
|--|---|

(R6CSリーフレットより抜粋)

③今年度の取組(伴走支援)について

○推進員連絡会の開催

第1回

日時・場所／令和6年10月17日(木) 14:00～15:30 東大津高校 校長室

参加者／東大津高校校長、愛知高校・愛知高等養護学校校長、綿谷氏、小寺氏

生涯学習課課員2名、宮崎県教育委員会事務局職員2名(オブザーバー参加)

内容／両校の取組状況についての情報交換

第2回

日時・場所／令和7年2月3日(月) 15:00～16:30 県庁

参加者／綿谷氏、小寺氏、CSアドバイザー安藤氏、梅本氏、

生涯学習課課員2名

内容／今年度の取組、来年度の取組について情報交換

○学校運営協議会への参加

モデル校の学校運営協議会に課員が出席。学校運営協議会の設置1年目の東大津高校には、CSアドバイザーの派遣も実施。

○活動の視察

令和6年12月17日(火)愛知高等学校「アントレプレナーシップ事業の生徒体験発表会」での地域コーディネーターの活動について視察。

④次年度以降の連携・協働活動の推進について

- ・推進員連絡会での地域コーディネーターとの定期的な情報交換や活動の視察。
- ・学校運営協議会への参加。



ともにめざし ともにかなえる 東大津高校

| | | |
|---|-----------------|--|
| 滋賀県 | 活動名：東大津高等学校協働本部 | 東大津高等学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |
| 地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:令和6年度 地域学校協働活動推進員等:1人 ボランティア登録数:0人 <input type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[] | | |

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- ・学運協を円滑に運営するための事務局の体制の整備と活動内容のホームページやInstagramに積極的に掲載すること。
- ・総合的な探究の時間や DX ハイスクールの取組、高大連携や地域連携についての進捗状況や今後の取組について。
- ・スクール・ポリシー、本校の目指す生徒像について。
- ・事業の継続性の確保や教育効果、外部関係者の視点の確保など、これからの課題について。
- ・教育課題に対する学運協の支援体制について。

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

- ・1年生が文化ゾーンで地域のボランティアの方々と社会体験活動を実施した。5月と10月の2度、落ち葉集めや溝の掃除、花壇への花植えを行った。
- ・吹奏楽部と音楽部が県立美術館開館40周年イベントや地域イベントで演奏した。地域から依頼のあったボランティアを全校生徒に広報した。
- ・新聞部が作成した「東大津新聞」を地域に回覧、配布し、多発する自転車事故防止に努める学校の思いを伝えた。
- ・3年生有志が天津市の「次世代まちづくり事業」に参加し、ナカマチ商店街の協力を得て、「高校生おしごとフェス」を開催した。
- ・本校の伝統行事である「耐寒遠足」に、学校運営協議会委員や地域の方々の協力を得られた。
- ・総合的な探究の時間や DX ハイスクールの取組等を近隣県立施設と連携して実施した。



【 高校生おしごとフェス 】



【 社会体験活動 】

■ 実施に当たった成果および課題

- ・学校が生徒とともに意識的に地域に視線を向けるようになったことで、地域の思いや期待を肌で感じる事ができた。
- ・本校ならではの教育や魅力化をどのように進めるかについて議論が深まった。
- ・従来の取組を地域協働という観点から整理でき、今後の取組が進めやすくなった。
- ・継続的な事業にしていくために、教育効果や事業の精選、教職員の働き方改革等の観点で点検することが必要である。
- ・勉強や部活動で忙しい生徒であっても参加しやすく、主体的に活動できる取組になるよう工夫したい。

■ 次年度にむけての展望(事業の予定等)

- ・教育活動の充実を図るため、関係機関や地元企業等との連携や支援者の開拓についてさらに協議を深めたい。
- ・生徒と委員が直接話し合ったり、活動したりできる機会を増やしたい。

■ 地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他(関係部活動顧問)

報告書記入者(校長)

愛知高等学校・愛知高等養護学校と地域で目指す『地域共学』

| | | |
|---|-----------------------------|--|
| 滋賀県 | 活動名： 愛知高等学校・愛知高等養護学校協働本部 | 愛知高等学校・愛知高等養護学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |
| 地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:令和6年度 地域学校協働活動推進員等:1人 ボランティア登録数:10人 <input type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[] | | |

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- ・学校行事支援
- ・地域人材によるキャリア教育
- ・就業体験
- ・学校の情報発信
- ・校内環境整備

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

【愛知高等学校】

- ①愛荘町商工会の協力によりプレジョブシップ(2日間の就業体験)を実施した。
- ②「有限会社 愛知高校」として以下のイベントに出店した。
 - ・愛荘町観光協会主催の「かまど祭り」(台風により中止)
 - ・近江鉄道主催の「ガチャフェス」
 - ・愛知高等養護学校主催「あいあいフェスタ」
 - ・秋まつり すわいさ in 勝光寺

【愛知高等養護学校】

- ③「あいあいフェスタ 2024」の開催(例年、生徒の学習成果物を地域住民に提供し好評を得てきた「販売会」を、『地域社会への参加と貢献』をテーマに掲げ、関係各所と連携しながら、地域と共に作り上げる行事へと発展させた。)

■ 実施に当たった成果および課題

【愛知高等学校】

- ①プレジョブシップにより就業に対する意識向上につながった。
- ②「有限会社 愛知高校」の出店に関わる企画・運営(顧客ターゲットの分析を行う)について、自分たちで意見を出し合い能動的な活動を行うことができた。

【愛知高等養護学校】

- ③従来の販売のみの場合と違い、生徒が地域の方々と交流しながら主体的に活動を楽しむ姿が見られるという成果が得られた。
- ④課題としては、以下のとおりであった
 - ・より円滑な運営のために、来場者の予想される動線を踏まえた会場レイアウトをどうするか。
 - ・参加事業所等の設営と撤収に人手が足りない場合の応援体制をどうするか。
 - ・運営に係る経費をどうするか。
 - ・この行事の認知度と集客数を上げるためにはどうすればよいか。

■ 次年度にむけての展望(事業の予定等)

【愛知高等学校】

- ①プレジョブシップの継続と共に就業体験できる新規の事業所等の開拓を行いたい。
- ②「有限会社 愛知高校」の魅力を地域の人に発信し、「株式会社 愛知高校」を起業することで、出資金を募り利益を出し出資者に還元できるようにするとともに、地域との連携を深めていく。

【愛知高等養護学校】

- ③「あいあいフェスタ 2025」を、今年度の反省を生かし、さらに地域と連携を進めるとともに生徒の学びが深められる取組としていきたい。

■ 地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 副校長 教頭 事務長 地域連携担当教職員 その他()



【「有限会社 愛知高校」の活動の様子】



【「あいあいフェスタ2024」】

報告書記入者(副校長)